

産業用ロボットの 真の価値をユーザーに届ける

ソリューションSIer ダイドー

産業用ロボットは労働力不足を背景とした自動化需要に加え、コロナ禍の非接触化に対応という新たなニーズも取り込み、持続可能な社会に欠かせない存在となった。メカトロニクス専門商社のダイドーは、年間約3000台の産業用ロボットを販売する世界有数のSier（システムインテグレーター）として、ロボット普及をけん引する。産業用ロボットを核に、国内外メーカーの工場自動化（FA）機器を組合せさせ、最適なシステムに仕上げる。100人のロボットエンジニアを擁し、メーカーと顧客を独自のノウハウで結びつける「産業界のコンダクター（指揮者）」として、同社の存在感は高まっている。日刊工業新聞社社長の井川治博が東京都江戸川区に立地する産業用ロボット実験施設「東京ロボット館」を訪れ、山田貞夫社長と「ロボティクスソリューションが導く未来」について、語り合った。

日刊工業新聞社
井水 治博 社長

ダイドー
山田 貞夫 社長



東京・名古屋にロボット館

都心で先進のモノづくりを体感

都心で先進のモノづくりを体感



メカトロニクス技術商社 ダイドーロボット館、オートマチックファクトリーの見学はHPより申し込みできます。 